

『広場や道路等のデザイン』

What the design of public space

大きく変わる渋谷駅中心地区 ~2027年の完成を目指して~

世界でも類を見ない大プロジェクト「渋谷駅中心地区の整備」

巨大ターミナルである渋谷駅と直近の広場や道路、民間の大規模建築物、デッキ等を刷新するという壮大な事業です。

少し時間と手間はかかりますが、

渋谷らしさをもった景観を強化する絶好のチャンスです。



広場や道路等のデザインにおけるポイント

- 渋谷駅中心地区では、長い整備期間の中で、段階的に広場や道路等が整備されます。
- また、計画・設計は、国、都、区、民間などそれぞれの事業者により独立して行われます。
- しかし、完成後は、それぞれの施設が接続し、駅から各方面への重要なネットワークとして使われるため、全体を一連のものとして捉えたデザインへの配慮が必要です。

そこで、計画の早い段階から、異なる事業者がデザインのコンセプトを共有し、お互いの個性を尊重しつつ、渋谷らしい景観づくりに取り組むこととしました。

旧大山街道（宮益坂下交差点）



スクランブル式交差点



「公共空間デザインコンセプト（案）」に基づき、広場や道路などそれぞれが個性を発揮するとともに、お互いの施設・空間が一体感を演出することにより、まちの魅力が向上し、個々の施設の価値が向上するという相乗効果をもたらします。